

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年8月

## ISO/TC 61/SC 5(物理・化学的性質)分野における日本提案による規格開発の状況

ISO/TC61/SC5は、プラスチックの物理・化学的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当し、現在までに、83の規格が発行されている。TC61/SC5の国際議長はスイスが、国際幹事はドイツ(DIN)が担当している。SC5下で活動中の作業部会(WG)を表.1に示す。

今期より、TC61直属のWG2「環境ガイド」はSC5に移り、WG24となった。

表.1 TC61/SC5のWG

WG	幹事国	名称
8	ドイツ	熱的性質
9	イギリス	レオロジー
11	オランダ	分析手法
22	日本	生分解性プラスチック
23	アメリカ	バイオベースプラスチック
24	インド	環境ガイド

\*SC5の幹事国：ドイツ

SC5の規格開発に関しては、日本は多大の貢献をしている。来る9月17日～9月21日にスペインのバルセロナにて第60回TC61国際会議(年次大会)が開催される。日本からも多数の委員が出席する予定である。日本提案の規格開発について、以下にWG別(WG24を除く)に進捗状況及び取り進めを報告する。

### 1. 熱的性質 (WG 8)

**ISO 11358-3** (TG-第3部：小沢ーフリードマンプロットによる活性化エネルギーの求め方と反応速度解析)：DIS投票で承認され、FDISに進むことが認められ、現在FDIS投票待ちである。

**ISO 22007-6** (熱伝導率・熱拡散率測定法―第6部：断熱材)：NP投票にてテーマが認められ、現在次段階のCD投票中。バルセロナの国際会議にて、投票結果について議論され、次の段階、すなわちDIS投票に進めるか否かが決定される予定である。

### 2. レオロジー (WG 9)

**ISO 1133-1,-2** (熱可塑性材料のMFRの求め方)：2部のパート別として改正され、IS発行となった。重要規格であるので、直ちに対応JISの改正を行うこととした。

**ISO 1628-1:2009 Amd 1** (毛細管粘度計による希薄溶液でのポリマー粘度の求め方―第1部：一般追補 1)：本案件は、本来、粘度(WG5)で取り扱われるべきであるが、同WGは休眠中のため類似のWG9にて審議された。本案件はFDIS投票が実施され、承認された。間もなく、追補が発行される。

### 3. 分析手法 (WG 11)

**ISO 16014-1~5** (サイズ排除クロマトグラフィーによる平均分子量及び分子量分布の求め方—第 1 部~5 部) : 第 1 部~4 部は改正であり, 第 5 部は光散乱による分子量測定を組み合わせた新規制定案件である。いずれも FDIS 投票にて承認され, 近々 IS 発行の予定である。IS 発行に対応して, JIS 改正及び制定も行う予定である。

**ISO 1183-1** (非発泡プラスチックの密度の測定方法—第 1 部 : 液浸法, 液体ピクノメータ法及び滴定法) : FDIS 投票にて承認され, IS 発行となる。

### 4. 生分解性プラスチック (WG 22)

WG22 は 1993 年開設以来, 日本がコンベナーを担当している。

**ISO 10210** (プラスチック材料の生分解性試験用のサンプル調製方法) : 現在 FDIS 投票中である。

**ISO 17556** (酸素消費量及び発生二酸化炭素量による土壌内の好気性生分解度の求め方) : FDIS 投票で承認され, IS 発行の予定である。

### 5. バイオベースプラスチック (WG 23)

WG23 は, WG22 から派生した WG で, 2011 年に設立された。

**ISO 16220-1~3** (生物由来の含有量の求め方—第 1 部~3 部) : いずれも現在, CD 投票中である。バルセロナの国際会議にて, 投票結果について議論される。

### 6. その他 : 光学特性 (WG1)

光学特性 (WG1) は, 現在休眠中であるが, 日本からは次の 2 件の新規提案を行っている。国際会議での審議は, WG11 にて行われた。

**ISO 177221** (像鮮明度の求め方)

**ISO 177223** (黄色度及び黄変度の求め方)

いずれも, NP 投票を行ったところ, 提案自体に対しては, 賛成多数であったが, 積極賛成 (エキスパートの指名) が新規提案登録に必要な 5 ヶ国に満たなかった。そこで, 昨年の国際会議での審議, あるいは再度の NP 投票により, 必要数のエキスパートを集めることができ, いずれの案件も登録されるに至った。現在は, CD 投票中であり, バルセロナの国際会議にて, 投票結果について議論され, DIS 投票に進めるか否かが決定される。

以上